



「いえすとーりー」で、家づくりを楽しみ尽くす



家族構成

木暮 敦さん 31歳(夫)
貴子さん 31歳(妻)
悠輝くん 2歳(長男)

衝撃的な完成見学会

木暮夫妻は長男が生まれて数カ月経った2年半ほど前から、本格的に家探しを始めた。当時は家づくりの知識ゼロ。まずは大手ハウスメーカーの住宅展示場めぐりから。

3ページつづ

表紙のつづき

「いえすとーりー」で家づくりを楽しみ尽くす

「木の家」「家全体が自然に暖かいこと」など、いくつかの方向性が見えてきたものの、提案されるプランは同じような間取りばかり。自分らしさがまったく感じられない、もっと自分たちのライフスタイルや好みを反映した家で暮らしたい、という思いが膨らんでいった。

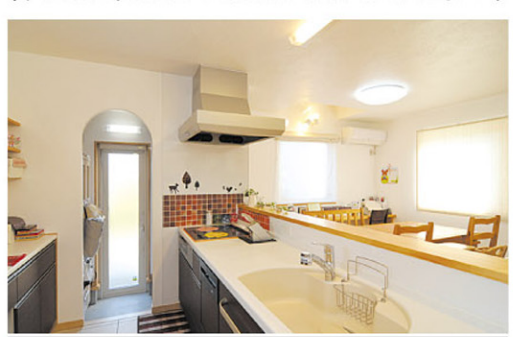
そこで方針変更した二人は、住宅情報紙や「すみかくらぶ」などを参考に、自分たちに合う工務店を絞りこんでいった。こうして篠田工務店と巡り合った木暮夫妻は、まず同社の完成見学会を訪れた。「まるごと、すべてを気に入ったのです」と、二人は口をそろえる。

「いえすとーりー」で後悔のない家づくり

「壁にはクロスが常識だと思っていたので、漆喰の白い塗り壁を見て、大きな衝撃を受けました。白い塗り壁とコントラストを描く特徴的な屋根、やわらかい質感の無垢の木、なんとも味わいのある木製サッシ、蓄熱床暖房で一日中暖かい室内…。家全体の雰囲気がとてもあたたかいと感じました」と、貴子さんは印象を振り返る。「篠田工務店に家づくりを依頼しよう」。二人はその瞬間、心に決めたという。

夫妻と同社のスタッフは、予算と実現したいことのバランスを調整するために、詳細な打ち合せを重ねていった。

「女性の設計士さんには気軽に何でも相談でき、わがまを存分に聞いていただきました。自分たちの要望をすべて話し、採り入れていただいたんですよ。提案されたプランは、かわいい家で私にとって理想的。自分たちで探したパーツ類の使用にも気軽にに応じていただきました。家づくりには“ああすればよかった、こうすればよかった”という部分が残るそうですが、私たちの場合は、後悔が全くない満足のいく家づくりができました。スタッフの皆さんに支えていただいたからでしょう。



▲貴子さんが集めた雑貨類がレイアウトされたキッチン。奥のキッチンパントリーは収納に重宝しているようだ



▲「結果的にほぼ最初の提案通りの家ができました。プラン提案の時の模型は、いまでも部屋に飾ってあるんですよ」と語る木暮さん家族

良い思い出ができました」

貴子さんの言葉は、「いえすとーりー」のすべてを表現しているだろう。

自分色に染める楽しみを満喫する



▲ウォークインクローゼットがあって便利な玄関

こうして出来上がった木暮邸。白い塗り壁に、三角屋根と木製サッシがアクセントとなる、おしゃれな外観がひときわ目を引く。

「朝起きたとき、仕事から帰ってきたとき、家の中が自然にふんわり暖かいのが何よりうれしい。理想通りです」と夫の敦さん。

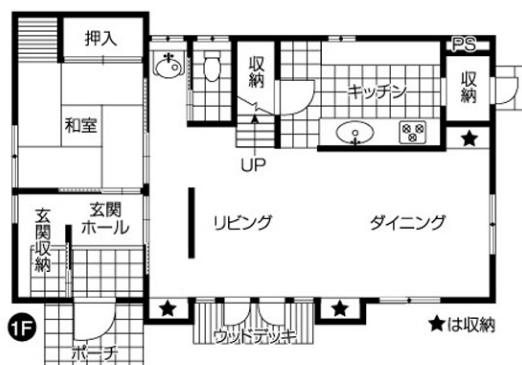
完成から1年以上が経ち、二人の趣味にカスタマイズされた室内を見ると、生活を充分に楽しんでいる様子が伝わってくる。「かわいらしいデザインが特に気に入っている」という貴子さんは、雑貨・インテリアに夢中。「白い塗り壁のシンプルな空間は、何でもなじむんですね。いろいろそろえるのが楽しい」。



▲オープンキッチンとリビングはくつろぎの空間。タイル仕立てのテーブルや大きめのソファがリビングを彩っている。蓄熱床暖房の効果で、床もあったか



▲2階東端は貴子さんの家事スペース。洗濯物と室内干し場だ。小さな吹き抜けがあり、暖かさが自然に循環する仕組み。仕事を持つ二人にとって非常に便利で、漆喰効果によって洗濯物の乾きも良好だ



- 設計／篠田建築設計事務所
- 施工／(株)篠田工務店
- 建築工法／木造軸組工法

- 建築面積／60.03m²
- 延床面積／112.20m²
- 完成日／2009年12月

施工

◆iestory

株式会社

篠田工務店

前橋市六供町711 TEL.027-225-0510